

提案書評価基準

1 基本的な評価事項

プロポーザルを特定するための評価項目は、表1のとおり。

2 評価方法

(1) 各評価項目について、表1「提案書評価項目」を参照し、次のように評価を行う。

ア 「業務実績」にかかる評価項目は、計20点の配点とする。

イ 「運営に係る提案内容」にかかる評価項目は、項目内容に応じて、10点、10点とし、計20点の配点とする。

ウ 「実施体制・スケジュール」にかかる評価項目は、項目内容に応じて、20点、20点、20点とし、計60点の配点とする。

エ 「ワーク・ライフ・バランス等に関する取組」にかかる評価項目は、項目内容に応じて、各1点とし、計5点の配点とする。

(2) 各評価項目について、表2「評価の視点」を参照し、次のように評価を行う。

ア 「業務実績」にかかる評価項目は、1項目とし、それぞれA、B、C、D、Eの5段階評価を行う。

イ 「運営に係る提案内容」にかかる評価項目は、2項目とし、それぞれA、B、C、D、Eの5段階評価を行う。

イ 「実施体制・スケジュール」にかかる評価項目は、3項目とし、それぞれA、B、C、D、Eの5段階評価を行う。

ウ 「ワーク・ライフ・バランス等に関する取組」にかかる評価項目は、5項目とし、Aまたは該当なしの2段階評価を行う。

エ 提案内容は、それぞれの配点に、換算した評価（A = 5 / 5、B = 4 / 5、C = 3 / 5、D = 2 / 5、E = 1 / 5とする。）を乗じて算出する。

(3) 評価委員の評価の平均点数(105点満点)の3 / 5 (63点)以上を合格点とし、もっとも平均点が高い者を特定者とする。

(4) 採点と同点の場合は、評価項目のうち、「実施体制・スケジュール」の評価の平均点が高い提案をプロポーザルの上位者とする。これも同点の場合は、同「実施体制・スケジュール」内の「円滑な会議運営」に関する評価の平均点が高い方の提案をプロポーザルの上位者とする。それでも決しない場合は評価委員長が第一順位を決定する。

(表1) 提案書評価項目

評価項目		配点	評価 (A~E)	評価の 換算式	評価点
1	業務実績	20	—	—	—
	(1) 類似業務の実績	20		(10×2)	
2	運営に係る提案内容	20	—	—	—
	(1) 未来志向的な「国際コンベンションらしさ」や、参加者が遊び心や楽しさを感じられ、スタイリッシュかつ企業等の意思決定層が参画するにふさわしい雰囲気作り	10			
	(2) 脱炭素化をはじめとするSDGsに配慮した会議運営	10			
3	実施体制・スケジュール	60	—	—	—
	(1) 円滑な会議運営	20			
	(2) 国内外の参加者のサポート	20			
	(3) スケジュール	20			
小計(満点:100点)		100			
評価項目(加算項目)		配点	評価		評価点
4	ワーク・ライフ・バランス等に関する取組	5	—	—	—
	(1) 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(従業員101人未満の場合のみ加算)	1			
	(2) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定(従業員101人未満の場合のみ加算)	1			
	(3) 次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみん認定、プラチナくるみん認定、トライくるみん認定)の取得	1			
	(4) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定(えるぼし認定、プラチナえるぼし認定)の取得	1			
	(5) 青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得	左記認定のいずれか1つ以上を取得していれば1点			
	よこはまグッドバランス企業(旧よこはまグッドバランス賞)の認定の取得				
小計(満点:5点)		5	—	—	
合計(満点:105点)		105	—	—	

(表 2) 評価の視点

評価項目		評価の着目点	評価				
			A	B	C	D	E
1 業務実績	(1) 類似業務の実績	国際会議等の運営実績を十分に有しているか。	本業務を遂行できる極めて豊富な実績等を有している。	本業務を遂行できる豊富な実績等を有している。	十分な業務実績を有している。	業務実績が十分でないか疑問がある。	相応な実績を有していない。
2 運営に係る提案内容	(1) 未来志向的な「国際コンベンションらしさ」や、参加者が遊び心や楽しさを感じられ、スタイリッシュかつ企業等の意思決定層が参画するにふさわしい雰囲気作り	会議全体を通じて、未来志向的な「国際コンベンションらしさ」や、参加者が遊び心や楽しさを感じられ、スタイリッシュかつ企業等の意思決定層が参画するにふさわしい雰囲気作りが提案できているか。	提案者独自の極めて有効な工夫や提案がみられ、実現性がある。	提案者独自の有効な工夫や提案がみられ、実現性がある。	提案者独自の工夫や提案がみられ、実現性がある。	提案者独自の工夫や提案がみられるが実現性がない。	妥当でない又は該当する記載がない。
	(2) 脱炭素化をはじめとする SDGs に配慮した会議運営	脱炭素化をはじめとする SDGs に配慮した会議運営の提案となっているか。	脱炭素化をはじめとする SDGs への優れた配慮があり、実現性がある。	脱炭素化をはじめとする SDGs への配慮があり、実現性がある。	脱炭素化をはじめとする SDGs への配慮があり、実現性が低い。	脱炭素化をはじめとする SDGs への配慮があるが、実現性がない。	妥当でない又は該当する記載がない。
3 実施体制・スケジュール	(1) 円滑な会議運営	運営者側との連絡調整や円滑な会議運営の実施が可能な体制の提案となっているか	実施体制が極めて優れている。	実施体制が優れている。	妥当である。	実施体制・内容が一部不適切である。	妥当でない又は該当する記載がない。
	(2) 国内外の参加者のサポート	業務実施に当たり、日本語及び英語の両言語にて対応可能であり、国内外の参加者とタイム細かく連絡調整・サポート等が行える体制の提案となっているか	実施体制が極めて優れている。	実施体制が優れている。	妥当である。	実施体制が一部不適切である。	妥当でない又は該当する記載がない。
	(3) スケジュール	業務実施に際し適切で実行性が高いスケジュールの提案となっているか	実施体制が極めて優れている。	実施体制が優れている。	妥当である。	実施体制が一部不適切である。	妥当でない又は該当する記載がない。

評価項目	評価の着目点	評価				
		A	B	C	D	E
4ワーク・ライフ・バランス等に関する取組	(1)次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定しているか。(従業員101人未満の場合のみ加算)	策定している。				
	(2)女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画を策定しているか。(従業員101人未満の場合のみ加算)	策定している。				
	(3)次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみん認定、プラチナくるみん認定、トライくるみん認定)を取得しているか。	取得している。				
	(4)女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定(えるぼし認定、プラチナえるぼし認定)を取得しているか。	取得している。				
	(5)青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定を取得しているか。	左記認定のいずれか1つ以上を取得している。				
	(6)よこはまグッドバランス企業(旧よこはまグッドバランス賞)の認定を取得しているか。					